

様式第 39 (附則第 3 条関係)

特定屋外タンク貯蔵所の休止確認申請書 (浮き屋根新基準適合期限延長)

年 月 日				
殿 申請者				
住所 _____ (電話 _____)				
氏名 _____ ⑩				
設置者	住所	電話		
	氏名			
設置場所				
タンクの呼称又は番号				
設置の許可年月日 及び許可番号		年 月 日 第 号		
貯蔵最大数量		kℓ		
浮き屋根の構造		<input type="checkbox"/> 一枚板構造 <input type="checkbox"/> 一枚板構造以外	告示第 2 条の 2 に 定める空間高さ Hc m	
休止措置の内容*	危険物の除去			
	危険物の誤流入 防止措置			
	休止標識の 掲示場所等			
危険物以外の物品の 貯蔵又は取扱い *		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (物品名: _____)		
危険物の貯蔵又は取扱いの 再開予定期日				
その他参考となる事項*				
※ 受付欄		※ 経過欄		備考
		休止確認年月日		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。
- 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事業所の所在地を記入すること。
- 3 「休止措置の内容」欄中の「危険物の除去」及び「危険物の誤流入防止措置」については、次の危険物の貯蔵及び取扱いを除く。
- (1) 消火設備又は保安のための設備の動力源の燃料タンクにおける危険物の貯蔵又は取扱い
- (2) ポンプその他の潤滑油又は作動油を用いる機器における潤滑油又は作動油の取扱い (一の機器において取り扱う数量が指定数量の 5 分の 1 未満である場合に限る。)
- (3) 配管の他の製造所等との共用部分における危険物の取扱い (当該他の製造所等における危険物の貯蔵又は取扱いに伴うものに限る。)
- 4 *印の欄に関しては、必要に応じ図面、資料等を添付すること。
- 5 ※印の欄は記入しないこと。